

## 令和5年度第2回小金井市長期計画審議会 次第

日時 令和5年7月25日（火）午前10時から

場所 小金井市役所本庁舎3階第一会議室

- 1 グループワークについて
  - (1) ヒアリングについて
    - 第1グループ：環境政策課、経済課
    - 第2グループ：子育て支援課
  - (2) 長期計画審議会コメントの検討について
- 2 グループワークでの検討結果について
- 3 その他

### ■配布資料

資料1 ヒアリングについて

資料2 令和5年度施策評価の長期計画審議会コメント案

## ヒアリングについて

第1グループ

## 1 ヒアリング部署及び施策

	部署	施策
7月25日 10:00 第一会議室	環境政策課	施策① みどりと水の環境整備
	環境政策課	施策③ 環境保全の推進
	経済課	施策⑩ 産業観光の振興

## 2 主な質問項目（前回のまとめ）

## 施策1

- ・公園美化サポーター数は減っていて、組織は2増えている点について、詳細を教えてください。
- ・登録者数のうち、参加していない人もいないのではないか。実際の稼働状況を教えてください。
- ・環境美化サポーターとは、どのような意見交換会をもう少し具体的に教えてください。  
また、その効果を教えてください。

## 施策3

- ・新エネルギー機器等普及促進補助事業の周知、利用状況を教えてください。
- ・事業者向けに周知は行っていますか。行っている場合は、内容や方法を教えてください。
- ・創エネが指標に入ってきていないですが、市の方針や考え方があれば、教えてください。。

## 施策10

- ・指標2年間小売販売額、指標3滞在人口率、直近の動向を教えてください。
- ・滞在人口率は、昼間、夜間、休日、平日のいずれの指標をもちいますか。

# ヒアリングについて

第2グループ

## 1 ヒアリング部署及び施策

	部署	施策
7月25日 10:00 第一会議室	子育て支援課	施策⑬ 子育て家庭の支援
	子育て支援課	施策⑭ 子育て・子育て環境の充実
	子育て支援課	のびゆくこどもプランについて

## 2 主な質問項目（前回のまとめ）

### 施策13

- ・指標が下がっている理由。
- ・課題の具体的な解決方法。抽象的で分かりづらい。

### 施策14

- ・指標1が下がっている理由。

### のびゆくこどもプランについて

- ・計画の具体的な内容。策定する上ですべきことをどのように選んでいったのか。誰の意見か。
- ・小金井市だけの取組はあるのか。
- ・重点的にどのような取組を実施していくか。

## 令和5年度施策評価の長期計画審議会コメント案

グループ	政策	施策	長期計画審議会委員の評価(案)
1	環境と都市基盤	1 みどりと水の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園環境美化サポーターとの意見交換の内容を、市民や団体等に周知し、課題の共有と目指すべき「みどりと水の環境」に向け、市民協働による取り組みを更に推進していただきたい。</li> <li>サポーターの登録者が増加しており、成果に現れていると評価します。「協働の仕組みづくり」が仕組みとして機能するように理想的な協働状態の定義や、理想状態に至るプロセスの精緻化と開示、市民が参加しやすい情報提供などが求められると思います。</li> <li>現状維持を目標とするものと今までの取組では手遅れになる可能性があるものなど、課題のレベル分けをすることができれば市民に響きやすいのではないかと？</li> </ul>
		2 循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>3Rに取り組んでいる市民の割合が目標値に達しているため、市民への啓発や環境学習の推進の成果が出てきている。循環型社会の実現を目指し、施策の周知やごみの排出量削減に向けた更なる創意工夫を期待する。</li> <li>総括・Actionについても認識相違がなく、評価します。次のアクションとして、実態を現す家庭系ゴミ排出量の削減に向けた原因分析が進むことを期待します。</li> <li>3Rに取り組むという目標や手段の情報提供に比べて、なぜ取り組むべきかという理由が少ない気がする。市、国、世界の問題は時代とともに変化するため、そこから市民の意識を変えていくアプローチがあってもよいと思う。</li> </ul>
		3 環境保全の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全に向けた意識は上がっている結果が出ており評価します。総排出量とのギャップに目を向け、次の目標とActionプランの設定が求められると思います。</li> <li>指標1の「省エネルギー」は受け止め方に個人差があると考えられる。「家庭でできる省エネ行動」をもう少しアピールすることで割合を上げることができると思う。</li> <li>住宅新エネルギー機器等普及促進補助金の利用率など具体的な成果も合わせて知りたい。事業者向け啓発事業などの成果を知りたい。啓発にとどまらず具体的に市民・事業者などが取り組める事業があれば知りたい。</li> </ul>
		4 市街地の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果やイベントでの対話、日々の生活実感から、総花的に利便性と環境の両面を求める市街地整備は限界が近いと感じています。また、「小金井らしい魅力的な市街地」の定義を市民参加の手法を使い作っていくことで市民の不安や疑問の解消につながるかと思えます。</li> <li>事業者としてどの部分が「小金井らしい魅力的な市街地」なのかを具体的に説明した方が指標1の評価をしやすい。</li> <li>小金井らしい＝明確な定義を知りたい。</li> </ul>
		5 住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業が目標に対して進捗している状況は評価できる。(高齢者自立支援住宅改修給付の到達率は減少)引き続き、各事業を実施し、「安全かつ快適で住み心地の良いまち」を目指し、取り組んでいただきたい。</li> </ul>
		6 都市インフラの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>各計画・プランに基づき、既存インフラの整備・メンテナンス事業や拡幅整備事業(無電柱化)を進めており、市民が快適に通行できる環境が整備されている。進捗状況等を市民と共有することにより、環境の見える化を図り、災害に強いまちを実感してもらうことも必要である。</li> <li>アンケート結果や生活実感、他市との比較から、小金井市で車社会を前提とした道路整備は無理があったのではと感じています。都市計画課などと連携をとりながら「小金井らしい魅力的な市街地」につながる道路設計を期待します。</li> <li>指標3の無電柱化や都市計画道路の進捗によって指標1の数字が大きく影響を受けると考えられるので、取組を確実に進めることが必要。指標2の適切に管理されていないと感じる市民約60%は、それぞれ個別の理由があると考えられるのでその理由も回答してもらい把握した方がよい。</li> <li>道路の快適性、管理への評価が下降気味であることが気になる。通報や要望への細やかな対応することで解決するのか抜本的見直しが必要なのか知りたい。コロナ禍で地元滞在時間が増えて通報件数が増加気味？</li> </ul>
		7 交通環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故死傷者数が増加、アンケート結果が停滞していること、生活実感から評価できませんでした。交通対策課に閉じず、市街地や都市インフラの整備と連携した施策を期待します。</li> <li>電動キックボードやタンDEM自転車等のルール緩和により交通対策の範囲は拡大するため、指標アンケートの目標達成には先回りの対策も必要になると考えられる。</li> <li>6同様にR3からR4へ実績減が気になる。</li> </ul>

## 令和5年度施策評価の長期計画審議会コメント案

グループ	政策	施策	長期計画審議会委員の評価(案)
1	2	8	危機管理体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災訓練の実施など、コロナ禍で中止していた取り組みを再開したことは一定の評価ができる。コロナ禍で希薄になったコミュニティの形成や、市民の防災意識の向上に向けて、さらなる啓発や広報等の取り組み期待したい。</li> <li>・指標1,2については当初より向上しており、評価します。</li> <li>・防災イベントも必要だが、他のイベントに防災の要素を組み込むことも必要と感じる。「人の輪」をつなげるためには防災だけのテーマでは困難と思われる。</li> </ul>
		9	地域の安全・安心の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で開催の縮小をしていた消費者啓発事業が、通常開催となり参加者が増加し、多くの市民に啓発活動を行ったことは評価できる。(犯罪発生件数の内訳確認後)犯罪発生件数とコロナ禍との関係を調査し、安全で安心して暮らせるまちを関係機関と連携して推進してほしい。</li> <li>・犯罪の手口は変化と集中を繰り返すので、一刻も早い情報提供が必要になると考えられる。市のホームページに最新の犯罪事例と対策のページを作りトップページにバナーを貼るなど、様々な方面から犯罪抑止を検討していただきたい。</li> <li>・若年、高齢層によって問題も違うため年齢層に対応した実績を把握できると良い。</li> </ul>
		10	産業・観光の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちに活気があると感じる市民の割合が増加傾向にあるが、この活気をどのように市内事業者・創業者や地域に還元していくか実施方法等を検討する必要がある。またイベント(一過性のもの)に注力するのではなく、小金井市の魅力を発信し、平日休日問わず多世代が交流できるまちを目指していただきたい。</li> <li>・徐々に成果が出ていると評価します。賑わいの創出などは経済課に閉じず、都市計画課、まちづくり推進課と連携していくことを期待します。</li> <li>・まちの活気が指標2にどの程度影響があるか注視したい。イベントの実施が一時的なにぎわいにとどまらない工夫・仕掛けを検討していただきたい。</li> <li>・街の特性上平日と休日の滞在率、消費動向に開きがあることが推測されるので担当部局のその辺りへの取り組みや評価を知りたい。</li> </ul>
		11	都市農業の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興計画に基づき、市内産農産物の利用促進や市民農園、地産地消、小金井農業の魅力発信に取り組んでいる。農産物の高付加価値化、ブランディングなどを行い、市内農業者の支援を期待する。</li> <li>・「採れたて」農産物の魅力を数値化してアピールできないか？継続購入につながる対策を引き続き検討していただきたい。</li> <li>・市民農園の使用率が高まると、統計上農業生産率が下がるのではないかと指摘がありました。多目的農地利用が推進される一方で、多様な評価軸ができてきているのか、そのあたり現状を知りたい。</li> </ul>

## 令和5年度施策評価の長期計画審議会コメント案

グループ	政策	施策	長期計画審議会委員の評価(案)
2	3 子どもと教育	12 子どもの育ちの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1の、子どもが育ちやすい環境だと思ふ市民の割合が増えていないのが懸念である。</li> <li>・居場所の制限は原因の一つかもしれないが、他の施策も充実させるほうが良いと考える。</li> <li>・子どものオンズパーソン相談室の機能や子どもの権利条例の周知などについて評価できる仕様になっていないがこれでよいのか。</li> <li>・指標は3つとも当初の値よりは増加しているが、指標1が前年度より減少しており、より具体的に課題を洗い出し、具体的な施策を立てていただきたい。指標1は広義に解釈できるため、この指標の減少が、本当にコロナによる活動の制限が原因なのか、わかりづらいという点もある。</li> <li>・当初値から指標が増加していることは評価できる。指標1の減少理由については活動が制限されたことが直接の要因なのか、コロナにより子どもたちの環境が変わったことによる意識の変化や需要の変化によるものかを分析した上で今後の活動につなげるべきではないのか。</li> <li>・施策が多岐にわたるので、子育て家庭への全面的な支援情報を現時点で一旦取り纏めて、リーフレット等で広報・啓発することを提案したい。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。指標1に関しては前年度より減少している。この理由は総括・自己評価の記載通りと推測される。ポストコロナ(あるいはウイズコロナ)や世界情勢の不安定化に伴う物価上昇などの状況を受け子供の居場所(トポス)に景況が懸念され、アンケート調査においてはこれら時代に変遷を受けた質問項目の設定などの工夫が必要であろう。</li> </ul>
		13 子育て家庭の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1がさらに下がっているが施策4の困難を抱える家庭への支援の充実が特に力を入れていく必要があると考える。</li> <li>・子育て家庭への支援が充実しているかどうかについては、実際にその支援が対象としている人々に聞く必要があると考える。</li> <li>・課題、次年度の施策の方向性共に、もう少し具体的に出していただけるとわかりやすいかと思う。</li> <li>・前年度に比べ指標が下がっている点、そもそも当初値が低い点を鑑みると、課題に対しての成果うんぬんというよりも課題の分析がうまくいっていないようにもみえる。市民のニーズをもっと取り込む必要があるのではないか。</li> <li>・施策が多岐にわたるので、子育て家庭への全面的な支援情報を現時点で一旦取り纏めて、リーフレット等で広報・啓発することを提案したい。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。2つの指標に関しては前年度より減少している。この理由は総括・自己評価の記載通りと推測される。指標2のアンケートの内容は国策といえる異次元の少子化対策に直接かかわる。国の政策を注意深く観察し、国からの補助金を効果的に引き出すことを念頭に入れたアンケートの工夫とその結果を受けて窓口の対応の工夫が望まれる。</li> </ul>
		14 子育て・子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会に加入する子どもが年々減ってきているので何か対策を考えていくべきである。</li> <li>・多摩26市の中でも小金井市は人口増加基調にあると同時に児童・生徒数も著しく増大してきている。これが小金井市の子育て環境に対する選好の現れなのかどうか何らかの形で調査が必要ではないか。</li> <li>・指標1が減少しているのが、本当にコロナウイルスのための活動制限などが影響してきたのかはわかりづらい。コロナウイルス以外の面での課題は無いかも検討していただきたい。</li> <li>・施策による指標の増加なのか、市民の意識による指標なのかを分析する必要があるのではないか。また次年度の施策の方向性に課題が繋がっていない。課題を再考し、施策の方向性が成果につながるのかも再検討すべきではないか。</li> <li>・子育て支援ネットワークの最大のネックは活動場所の確保である。小金井の協定先である大学、専門学校等のスペースを活用することは考えられないだろうか。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。指標1に関しては前年度より減少している。この理由は総括・自己評価の記載通りと推測される。コロナが終息したわけではないが、この3年間に比べコロナからの解放は大きい。この状況下で、まずは取り組みをコロナ以前に戻すことだが、併せてコロナの経験で学んだ遠隔方式の繋がりをネットワーキングや行事に活かす工夫も必要と思われる。</li> </ul>

## 令和5年度施策評価の長期計画審議会コメント案

グループ	政策	施策	長期計画審議会委員の評価(案)
2	子どもと教育	15 学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1の学校が楽しいと思う児童の割合を100%の目標にしているが、学校に行く事が善であるという前提に思えることに疑問を感じる。(これは評価ではなく個人的意見です。学校教育の充実なので仕方ないことはわかっています)</li> <li>・不登校児童が全国的に増加を続ける中、もくせい教室が果たしている役割にも注目すべきではないか。</li> <li>・指標1, 2共に中学校においては成果が見えて喜ばしいことだと思う。引き続きより良い学校教育になるよう進めていただきたいが、教育の充実を図ると必然的に教職員の負担は大きくなると考えられるため、同時に教職員の負担軽減にも注力していただきたい。小学校においては指標が当初と変わらないか若干下がっているため、今後あらためて課題を探る必要があるのではないかとと思う。</li> <li>・課題に基づいた方向性を示している点は評価できる。ただ小学校と中学校で指標の増減に差が出ているので、ひとまとめに考えて評価するのではなく、それぞれを評価する必要があるのではないかと。</li> <li>・学校生活の活性化には、教職員のみならず家庭との連携が必要と思われます。</li> <li>・コミュニティー・スクール制度の充実、更には、学校家庭連携推進事業の新たな展開に期待したい。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。総括・自己評価に記載される「コロナ禍で中止が続いた宿泊行事などの中止により、学校が楽しいと思う児童生徒の割合は高まった。」は興味ある観察である。この分析を深め知見を得て指標1の内容を質的に高めることを考えてほしい。指標2は教育における永遠の課題である。この課題の特効薬はおそらくなく、様々な過去から現在にいたら現場経験からその解決策を探り共有化することに尽きるであろう。</li> </ul>
		16 学校環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある子どもも通っているが各学校のバリアフリー化についても不十分なところがあれば検討するべきであると考ええる。</li> <li>・児童数・生徒数の増大に対して校舎の増改築を含めたさまざまな対応が必要になってくるが、そこを適切に評価できる項目になっているだろうか。</li> <li>・指標1が前年度より大幅に減少している。トイレ洋式化やエアコン設置などの成果は実際には上がっているが、それが市民の満足度にあまり結びついていないように見える。</li> <li>・大きく増加している指標があることは大いに評価できる。一方でトイレの洋式化やエアコンなど、子どもが常に使用する設備の整備・充実化は優先度をあげて取り組んでいただくことを期待する。</li> <li>・小学校児童数・学級数の増加に伴う大規模校化に対する適切な対応を宜しく申し上げます。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。学校環境の整備は予算で決まってしまう。限られた予算を効果的に使うために重点項目から順次実現されるものであろう。その意味で取り組まれてきた事柄は適正であると思われる。一方、国策の異次元の少子化対策もと、市の行政として国や都からの補助金を効果的に取得する努力を継続してほしい。</li> </ul>

## 令和5年度施策評価の長期計画審議会コメント案

グループ	政策	施策	長期計画審議会委員の評価(案)
2	4 文化と生涯学習	17 芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1について、市民ベースの合唱、絵画・書等々の芸術活動は実際にコロナ禍でも地道に継続しており、近隣市を含めた広域活動になっているケースが少なからずある。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。指標2においてこの値は未設定であったが、この達成率は順調に増加している。今後、様々な活動を復活し小金井市の品格をさらに上げてほしい。</li> </ul>
		18 国際交流・都市間交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休止した事業の再開とともに、新しい活動の検討などを含め、積極的に他の自治体との交流の機会を検討していただきたい。</li> <li>・市民には国際交流に対する潜在的ニーズは強いものの、切っ掛けを見出せない状態にあると思われるので、社会福祉協議会や市民活動団体を積極的に活用しては如何でしょうか。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。ポストコロナ(ウイズコロナ)によりインバウンドが大幅に増加している。拡大するSNSにより驚く程マイナーなスポットを海外の旅行者が発見し訪れる。SNSで小金井の様々な魅力あるスポットを発掘し発信してほしいと思う。その際、海外の視点は欠かせない。何らかの方法で海外の視点から彼らが興味を持つスポットを発掘してもらい発信してもらおうことだろう。</li> </ul>
		19 人権・平和・男女共同参画の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年の市民意向調査の結果を分析するとこの項目への満足度が今後の定住意向を高めていることがわかります。小金井市のイメージを規定する重要な要員ではないかと考えます。</li> <li>・啓発事業の地道な継続が最も肝要であるが、学生・生徒等の若年層を対象とする事業があっても良いのではないかと。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。「人権・平和・男女共同参画」については永遠に取り組み継続すべき事柄であることに論を待たない。それがゆえに目新しさを感じにくくなる。しかし時代時代にその重点は推移していると思われる。新たな性差別や性的マイノリティーは、現在におけるホットイシューである。これらのいイシューに対しては様々な立場があると思うが、そうであればこそ、そこでの寛容で真摯な意見交換を望む。このような観点からの取り組みもあるであろう。</li> </ul>
		20 生涯学習の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習においてもICTの導入が必要となってきたが、これを評価する項目にはなっていない。また、公民館における活動が高齢者に偏っており、若い人々に広がりを持っていないように思われる。</li> <li>・生涯学習の機会が増えてきているようで喜ばしい。コミュニティスクールの導入により、学校現場での取り組みにも期待したい。</li> <li>・生涯学習の振興事業は安定的に展開しているが、受け皿となる公民館等公共施設の老朽化が進んでおり、細かな修繕すら遅れ気味であることに留意願いたい。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。コロナ禍にも関わらず、2つの指標は堅調に増加している。高く評価したい。一方、生涯学習における対象範囲は広がりつつあると思う。かつての「生涯学習」のイメージは高齢者対象であったが、これからは全世代にわたる生涯学習が要求される時代になりつつある。各部署における所掌範囲があろうか、その壁を乗り越えた検討が必要ではないだろうか。その取り組みの例として、個人的であるが小金井市と協定を結ぶ市内および近隣の大学との活動の設計である。</li> </ul>
		21 スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の休館を利した総合体育館、栗山健康運動センターの修繕施工が出来たことは良かった。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。コロナ禍にも関わらず、2つの指標は堅調に増加している。高く評価したい。これを裏返せば市民の関心が高いことである。指標2において「小金井市総合体育館長期修繕計画に基づくⅢ期工事に伴い、一定期間、施設の一部を休館」が大幅な伸びを阻害しているとのことは納得できる。一方、市と協定を結ぶ市内には大学や専門学校があり、これらの教育機関におけるスポーツ施設の借用の可能性もある。市の施設にとどまらずこのような施設の借用も検討の価値があると思える。</li> </ul>

## 令和5年度施策評価の長期計画審議会コメント案

グループ	政策	施策	長期計画審議会委員の評価(案)		
2	5	福祉と健康	22	福祉のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1について、困った時の相談機関は充実したが、相談者と支援者という図式であり、地域でお互い助け合える(共助)の目標達成に向けては、新たな取り組み必要ではないかと考える。</li> <li>・助け合える関係性を持っている市民の割合が(傾向的に減っているわけではないものの)目標に比べてかなり低いことは懸念すべき点であると思う。地域福祉の担い手育成を行っているとのことだが、どの程度の成功を収めているのか知りたい。</li> <li>・指標は前年度よりは増加しているが、目標値には遠い。より具体的に課題を出し、施策につなげていって欲しい。</li> <li>・4つの地域包括支援センター自体は機能しているが、それ止まりであって、地域コミュニティ全体での包括支援体制の構築にまで至っていない。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。2指標とも目標値には至っていないが、コロナ禍の機関にも関わらず増加している。評価したい。これらの2指標はいわばソフト対応であり、工夫により予算を使わなくても大幅に効率化が測れそうである。DXの活用などを試みてはどうか。これにより目標値に近づけることができただろうか。</li> </ul>
			23	高齢者の生きがいの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の社会参加の機会促進にあたって男女の比率を考えた時に男性の社会参加がまだまだ少ない気がする。そこを充実させる必要があるのではないかと考える。</li> <li>・社会参加をしたい高齢者に情報がきちんと行き渡るよう、引き続き情報発信していただきたい。</li> <li>・高齢者の社会参加の切っ掛けとは何か、正直分からない。市民まつり等のイベント類の再開により一過的に関心は高まるが、持続性は担保されないと思われます。</li> <li>・介護支援ボランティア、高齢者農園等と参加機会を拡大することは大賛成です。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。ポストコロナ(あるいはウイズコロナ)のもとでコロナからの解放が進んだ。コロナは「高齢者の生きがい」を阻害する最大の要因であったと認識する。コロナこれは社会的な大実験ともいえるこのなかで、学びはあったはずでありそこをアンケートで問い、高齢者が必要とする真ある「高齢者の生きがい」を見極めたほしい。</li> </ul>
			24	高齢者が暮らし続ける仕組みの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる高齢者への総合相談、生活支援等の日常生活レベルでの支援が重要であり、介護する家庭への支援も忘れてはならない。最終的には地域コミュニティ全体で支援する体制構築が望まれる。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。様々な議論があることを承知でいえば、「高齢者が暮らし続ける仕組み」には「自助、共助、公助」がある。行政としては「公助」あるいは「順公助」にそのもの視点がいくであろう。行政として「かなり私的な共助」と「自助」を支援するプログラムの開発があり得ないだろうか。核家族化が進んでしまった現在では「自助」を支援する質の高いプログラムが必要ではないだろうか。</li> </ul>
			25	障がい者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方への理解を進めるために、さらに普及啓発することにより、共生社会実現へ進むと思うので新たな方策を検討していただきたい。</li> <li>・障害のある人にとって暮らしやすい街であるかどうかは障害のある人達に尋ねてみないとわからない。また差別解消条例を前提にその認知の度合、それに基づく啓発活動の活発さなども指標に組み込むのがよいように思う。</li> <li>・目指すべき共生社会実現の基本となる障害福祉サービスガイドラインの策定は評価できる。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。総括・自己評価の「社会資源の不足を補うためのネットワーク構築の一環として、相談支援事業所連絡会の定期開催を行った。」は評価したい。財政が難しなかでそれに依存しない工夫が重要であり、そのためには創造的な工夫しかない。</li> </ul>
			26	健康の維持・増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に係わる指標2の明らかな低下は問題である。食育こそフードロス対策、フードドライブ事業と並んで現下において検討すべき課題であり、早急に広報・啓発活動に当たられたい。</li> <li>・第5次小金井市基本構想・基本計画に基づき適正に課題が設定され、かつ指標は継続的に設定され、評価の構造は適切である。3指標とも高い達成率を評価したい。様々な議論があることを承知でいえば、各自の「健康の維持・増進」には「自助、共助、公助」の取り組みがあると思う。カスタムメイドな「健康の維持・増進」を望む個人もおおい。それを端的に示しているのはサプリメント事業が多いことである。テレビのコマーシャルの頻度を見ると一目瞭然である。各自の「健康の維持・増進」に本当に必要な啓蒙活動は行政として可能ではあるまいか。その取り組みは指標2の延長としてでかいなであろうか。</li> </ul>

## 令和5年度施策評価の長期計画審議会コメント案

グループ	政策	施策	長期計画審議会委員の評価(案)
1	6 行政運営	27 市民参加・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加の必要性や協働の理解が促進されるように、サイレント層に向けた発信方法を検討していただきたい。各活動に参加した団体等のフォロー、活動の成果が大きかった事業の研究・調査などを行い、協働事業提案制度に活かしていただきたい。</li> <li>・町会・自治会への加入率が低下している中で、ポスターで一定の効果があつたことからさらに加入促進を工夫しながら推進していくのを期待する。</li> <li>・オンライン傍聴や毎月のタウンミーティングの開催など取り組みの強化を評価します。流入出の多い若者層の市民参加手法の拡充と、クローズドな意思決定プロセスの開示など途中からでも参加しやすい仕組みづくり、業務の棚卸しなどを期待します。</li> <li>・市民が意見を言える・書ける場を増やすことと、市民からの意見で何かが変わった事例を紹介することで、発言しやすい環境が提供できると考えられる。</li> <li>・若年層(高校生から39歳くらいまで)の市民参加を促すあり方を検討とのこと。ぜひ実施実現してほしい。</li> </ul>
		28 積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が求めている行政情報を入手しやすいツールや運用の仕組みを検討いただきたい。</li> <li>・LINEやSNSなどの取り組みについて評価します。いわゆる「銀の弾丸」が存在しないテーマであると認識しており、継続的な広報手段の拡充と見直しを期待しています。</li> <li>・今後も情報量が増え続けるため検索機能を有効に利用してもらうための情報発信も絡めて目標を達成していただきたい。</li> </ul>
		29 計画的な行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務環境の整備やDXによる業務効率化に期待します。アンケートの結果は、最終的に達成したい目的からブレイクダウンした定量目標の設定と設定した目標の背景、ゴールに向かうまでのステップを共有することで改善に向かうと考えております。</li> <li>・計画や指標はシンプルでわかりやすいことが必要と考える。計画は必要な場合は柔軟に見直し、行財政運営を進めていただきたい。</li> </ul>